

T-ACT 筑波山梅まつり縁結びイベント

つくばアクション
プロジェクト

(31)

はやし けんすけ
林 賢佑 (人間学群 心理学類 2年)



はじめ

この企画はつくば観光コンベンション協会から、「筑波山梅まつり」に若い人を呼び込むために、「縁結びイベント」を学生に企画してもらいたい、とT-ACTに話を持ち掛けたのがきっかけでした。

当日には、「梅ビンゴ」と「カップル写真コンテスト」の二つのイベントを開催し、80組、100名を超えるお客様に参加していただくことができました。

筑波山梅まつりとは

毎年2月下旬から3月下旬にかけて筑波山梅林で行われているお祭りです。およそ千本の白梅と紅梅が咲き乱れ、山が白と紅とに染まる中で、特設ステージで多くのイベントが行われ、休憩所では梅を使ったお菓子や飲み物などが振る舞われます。

そんな梅まつりですが、私も実際行って感じたのは、やはり年配の来場者が多いことです。今回のイベントは、そこに若い来場者を呼び込むことを目的としていました。

企画の始動

イベントを運営するにあたって私が言われたことは「とりあえず何をやってもいい」ということでした。日程も企画の内容もすべて任せられたのです。しかし、このようなイベントの運営経験など全くなかった私は、なかなかいい案を思いつくことができませんでした。

そんなとき、筑波学院大学から3人の学生と、筑波大学の院生でT-ACTのサポーターの方がプロジェクトに参加してくれました。彼らが参加し、意見を言うようになって、話がどんどん進んでいきました。そして、この段階で長期間の「写真コンテスト」と短日の「街コン」をやろう！ということになりました。

イベントまで

意気揚々と始まったチームでしたが、この段階で時期は1月中旬。実際に内容を詰めていくにつれて時間が足りないことが明らかになってきました。

何より難しかったのは「街コン」をどうするか？という問題でした。このイベントを実際にやるには…と考えていくと、広報、食事、イベントの中の企画、日程etc…多くの課題が見えてきました。結局、3月初めに「街コン」の開催をあきらめ、街コンの中で行おうと考えていた「梅ビンゴ」を短日企画で行うこと



梅まつり会場、筑波山梅林 (筆者撮影)

になりました。

そして、「梅ビンゴ」と残る「写真コンテスト」の準備を急ごう、と気持ちを新たに矢先に、今度は観光コンベンション協会の方から、「イベントを1日にまとめましょう」と言われ、結局、2つのイベントは1日に集約されることになりました。

イベント当日

当日はとてもいい天気で、朝には筑波山梅林から富士山を望むこともできました。肝心の梅も、紅梅白梅ともに綺麗に咲き誇り、梅林は甘い香りに包まれていました。



企画受付での様子

数々の問題点が浮き彫りになり、イベントの準備も急ごしらえで、当日も集客についての心配ばかりでした。しかし、いざ始めてみると、小さい子どもからお年寄りまで、老若男女、幅広い年齢層の方々にイベントを楽しんでいただきました。同伴者と一緒にマップを手に梅林のあちこちに隠されたカードを見つける「梅ビンゴ」は、年配の来場者の方が一生懸命探していました。

そんなこんなでイベントは盛況で、用意していたビンゴカードは午前中に尽きてしまいました。

イベントを終えて

今回のイベントは最終的に参加者の方々にもよるこんでいただき、なんとかやり遂げることはできましたが、勝敗は如何に？と問われれば、完全な勝利ではないと感じます。何より悔しいのは「若い人を集める」という当初の目的を達成できなかったことです。その原因は私のリーダーとしての力不足だと感じています。何より与えられた仕事を素早くこなし、内容を短時間で決定できなかったこと、役割分担をしっかりと決めて円滑に仕事を回せなかったことが大きな失敗点だったと反省しています。

実は私は以前にもT-ACTでアクションをプランニングしているのですが、その際もスケジュール管理、行動力を欠きプロジェクトをうまく運営することができませんでした。

今回の縁結びイベントの結果に満足することなく、今回得た教訓を今後の活動に生かしていきます。

最後に

T-ACTはやろうと思えばやりたいことを何でも実行できます。失敗したとしても懲りずに続けることが大事だと、今回学びました。みなさんもぜひチャレンジしてみてください。

また今回、イベントの企画を手伝ってくださった筑波学院大学のみなさん、サポーターの鈴木さん、観光コンベンション協会のみなさんにこの場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。